

SDGs

Educational tours

OKAYAMA

SDGsをテーマとした
教育旅行体験プログラム

岡山県備前県民局エリア



POINT

課題を自ら発見する力

よりよく課題を解決する力

自己の在り方を見直す力

を育みます



岡山県備前県民局

歴史や文化に触れ、 SDGsを主体的に学ぶ

— 「簡単に答えが出ない問い」に向き合う力を—

日本初の庶民教育のための「閑谷学校」、国内外から鑑賞者が訪れる現代アートの島「犬島」、ハンセン病の療養所「長島愛生園」—岡山県備前エリアには、教育旅行に適した施設があります。

本プログラムでは、学習効果を高めるクイズウェブシステムやワークブックで学習をサポート。生徒個人の興味・関心に合わせて学び考えることで、SDGsが身近な社会課題と結びついていることを実感し、自ら考える力を育みます。



学習の流れ



探究活動の流れ

事前学習

情報を集めインプットする

現地について学ぼう！

- 特徴
- 歴史背景

SDGsについて学ぼう

- 目的は？
- どんなことが行われている？

POINT



クイズ形式のウェブシステムを使ってSDGsについて楽しく理解を深めます。



ワークブックでは、重要な情報を穴埋め形式で押さえられるだけでなく、インターネットで適切な情報を調べるノウハウも学べます。

研究問題を選び、仮説（仮の結論）を立てる

現地×SDGsについて考えよう！

- どういうことに興味がある？
- 現地とどのSDGsゴールがつながりそう？
- 関連すると思ったゴールについて詳しく調べよう
- 現時点で、研究問題についてどう考える？

実際に調べる

現地を訪れて、観察・インタビューしてみよう

- 何を見た？感じた？考えた？

POINT



自身の考えを深められるよう、経験豊富なファシリテーターが生徒に問いかけます。



事実をまとめる

事実を整理しよう

- 見たこと、聞いたこと、事実をまとめよう

仮説を検証する

あらためて「現地×SDGs」を考えよう

- 研究問題について、あなたの答えは？
- 事前学習で考えた仮説と答えは変わった？
- 関わりたいSDGsのゴールは？現地とどう関係する？

POINT



気付きで終わらずアクションへ結び付けられるよう、ワークブックが思考をサポートします。



考察を深め、アウトプットし、今後につなげる

学んだことを生かし行動しよう

- 学んだことをまとめよう
- 身近な環境で生かす
- 社会全体や世界で生かす

現地学習

事後学習

学習の目標

- 探究活動の流れを体験し、次に探究活動を行う時の基礎とする。
- SDGsの考え方に触れる。
- 探究活動を通して発見した課題を、自分ごととしてとらえ、行動目標を立てる。

旧閑谷学校 備前市

KYUSHIZUTANIGAKKO

閑谷学校は、今から約350年前の江戸時代前期に創建された、武士以外にも教育の門戸を開いた日本初の庶民（教育）のための公立学校です。「旧閑谷学校」として国の特別史跡に、中でも講堂は国宝に指定されました。隣接する岡山県青少年教育センター閑谷学校では、自立心や協調性・社会性の育成を目指す研修などを行っており、年間約5万人の研修受入実績があります。研修の中心には、「旧閑谷学校」の持続可能な工夫などの具体例を基にしたSDGsを学べるプログラムがあります。



- 開館時間：9:00～17:00
- 休館日：12月29日～31日
- ガイド対応人数：80名(国宝の講堂で一度に会談ができる概数)
- 問い合わせ先：岡山県青少年教育センター閑谷学校 TEL: 0869-67-1427 MAIL: info@shizutani.jp

史跡



300年以上前に持続可能であることを目指して設計・建設された、ランドスケープと建築。湿気を溜めない構造、耐久性の高い備前焼の瓦、かまぼこ型の石堀などに、その工夫を垣間見ることができます。孔子の徳をたたえる聖廟をはじめ、閑谷神社など、多くの建造物が国の重要文化財に指定されています。グループに分かれて探索が可能です。

01

「一人も取り残さない」教育のあり方

「一人も取り残さない」平等な教育環境はなぜ生み出され、どう継承できるか？

02

地域に根付いた建築の価値とその継承

歴史や文化、自然と関連して持続してきた建築がもつ価値とは何か？どう継承するか？

03

歴史・文化の価値とその継承備前焼という1000年続く文化はどう生まれ、継承されてきたのか？
これからどう継承すればいいか？

講堂



大きな屋根を持つ講堂は、国宝に指定されています。講堂の中で論語を学ぶ姿は、閑谷学校開校以来の伝統です。講堂学習では、一つのテーマについてグループで語り合った後に論語を朗読し、解説を聞き、心に響いた論語を基に再度語り合う「会読(かいどく)」が体験できます。昔と変わらぬ環境で学ぶことで、江戸時代の教育が現代につながっていることを実感します。

青少年教育センター



青少年教育センターは、閑谷学校の社会教育・生涯学習の側面を継承し、学校の宿泊研修や企業研修などの場として、広く利用されています。本プログラムでは、地元備前焼作家指導のもと、備前焼づくりを楽しめます。ただ体験するだけではなく、伝統文化の継承について考えます。

教育学習 モデルコース

model course

旧閑谷学校での学びを深める3つのコースをご用意しました。
学習内容、生徒様の興味・関心に合わせてご活用ください。

course 01

1 史跡探訪 (90分)

ねらい | 閑谷学校の歴史・建築・教育の思想を学ぶ

❓ 閑谷学校が350年にわたって持続してきたのは、どのような工夫があったからか？

2 昼食 (45分)

青少年教育センター内の食堂で、地域の食材を生かした昼食の提供が可能です

3 講堂学習 (90分)

ねらい | 論語を活用して、人の在り方・生き方を考える

❓ 人にとって学ぶことの意味とは何か？

4 備前焼体験 (90分)

講師：備前焼作家 ほか

ねらい | 地域における備前焼の文化・産業の成立過程を知り、継承の課題を理解する
地域のつながりが産業・歴史・文化を継承・発展させていることを理解する

❓ 備前焼の現在の課題はなんだろうか？

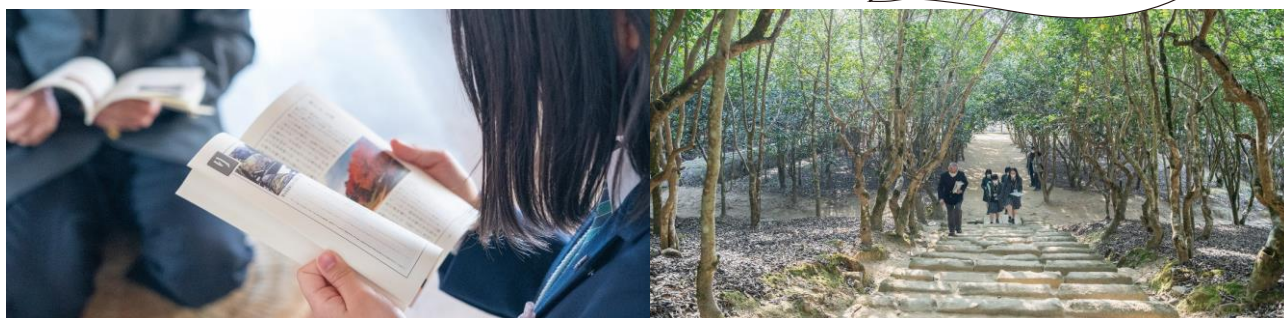
参加者の声

...

備前焼を僕たちが受け継いで、未来につなげていきたい。

学べる環境があることを当たり前だと思わず、勉強に取り組もうと思う。

講堂学習では、最初に意見交換してから取り組むことで理解しやすくなり、深く考えることができた。



course 02

1 史跡探訪 (90分)

ねらい | 閑谷学校の歴史・建築・教育の思想を学ぶ

❓ 閑谷学校で学ばれた四書五経は、どのような点で現代的な意義があるか？

2 昼食 (45分)

3 講堂学習 (90分)

ねらい | 論語を活用して、人の在り方・生き方を考える

❓ 人間関係を円滑に形成するためにどのようなことを心掛ければよいか？

4 地域の方々の講話 (90分)

講師：(一財)岡山セラミックス技術振興財団職員 ほか

ねらい | 閑谷学校とその周辺地域の歴史や文化・自然・産業の関係性を知り、その継承に関わる課題を理解する

❓ 産業・自然がもつ意味(価値)とは何か？これからどう育て、継承するか？

course 03

1 講話 + 史跡探訪 (105分)

講話「閑谷学校の持続可能な建築と経営」

講師：岡山県立博物館職員 ほか

ねらい | 持続可能な建築及び経営の特長を学ぶ

❓ 閑谷学校が350年にわたって持続してきたのは、どのような工夫があったからか？

2 昼食 (45分)

3 講話 + ポスター制作ワークショップ (105分)

講話「日本建築の魅力～宮大工の仕事を通して～」

講師：文化財建造物木工技能者 ほか

ねらい | 持続可能な建築及び経営の特長を学ぶ

4 講堂学習 (90分)

ねらい | 持続可能な建築を実現する人を目指して、「自己の在り方を見直す」ことを目当てとする哲学対話を実施する

❓ 働く楽しみ、働く喜びを得るために、どのようなことを心掛ければよいか？

犬島 岡山市

I N U J I M A

犬島は、人口50人ほどの島。瀬戸内国際芸術祭の会場のひとつで、芸術祭開催年には国内外から年間約5万人が訪れます。古くは銅の製錬業と採石業で栄えました。「在るものを活かし、無いものを創る」をコンセプトにした美術館をはじめ、島には現代アートが点在し、穏やかな島の風景ととけあっています。豊かさとは何か、環境と産業のあり方を問いかけます。



- 開館時間：9:00～16:30
- 休館日：公式サイトの開館カレンダーをご確認ください。
- ガイド対応人数：75名
- 問い合わせ先：公益財団法人 福武財団（エデュケーション担当） TEL: 087-892-2550 URL：https://benesse-artsite.jp

犬島精錬所美術館



犬島精錬所美術館 写真：阿野太一



犬島精錬所美術館は、10年で操業を終えた銅製錬所の遺構を保存・再生した美術館です。既存の煙突やレンガ、地中熱などの自然エネルギーを利用して室温を調整。環境に負荷を与えないよう工夫されています。アートを鑑賞しながら、経済発展と近代化・循環型社会を意識できます。

01

近代化・都市化の功罪と未来構想について

自然を破壊し、便利さを追求する生き方ってどう思う？
未来はどうあればいい？

02

未来の人間の暮らし方について

20年後の人間はどのような暮らし方をしているべきだろう？
どんなまちになっているといい？

03

自然と人間の共創的共生について

自然を破壊して生きる人類は持続可能だろうか？
自然も人間も豊かに育つ世界はどんな世界？

犬島 暮らしの植物園



犬島の風土や文化に根ざした、参加型の植物園です。植物を見るだけでなく、島の人々や来訪者と一緒に、自然とともに暮らす喜びを体験できる場づくりを行っています。

自ら収穫したハーブティーを味わうなどのワークショップも開催。植物の豊かさを感じ、植物との共生や環境について考えられます。

犬島「家プロジェクト」



島の集落の中に現代アートが点在するプロジェクトです。5つのギャラリーと1つの家跡で、世界に名だたるアーティストの作品を公開しています。

犬島の暮らしや風景と融合し、共存しているアート。島を歩きながら作品を巡ることで島の地理や暮らしを知り、アートを通して島を見ることで社会課題への気づきが得られます。

写真：井上嘉和

教育学習 モデルコース

— model course —

犬島での学びを深める2つのコースをご用意しました。
学習内容、生徒様の興味・関心に合わせてご活用ください。

course 01

1 犬島 暮らしの植物園 (70分)

ねらい | 「自然とともにある暮らし」に関するメッセージを、暮らしの植物園の思想やワークショップの記録等から感じ、理解しようとする

❓ 自分自身が暮らしの中で取り組もうと思ったことはどんなこと？

2 ランチワークショップ (50分)

ねらい | 気づきの共有
自然の下で食事をしながら、犬島の地勢について考える

❓ 島で昔から食べられている食事を味わって、感じたことは？

3 犬島精錬所美術館 (70分)

ねらい | 「在るものを活かし、無いものを創る」の意味を考える

❓ なぜ、犬島に銅の製錬所ができたと思う？

4 犬島「家プロジェクト」 (35分)

ねらい | 「人間の生・命と暮らし、自然」に関するメッセージを、建築物（各邸）とアート作品から感じ、理解しようとする

❓ 「犬島の町並み」について気づいたことを挙げてみよう



知識欲がとても刺激されて、もっと聞きたい、調べたいと思った。

人間にも多様性が認められるように、植物にも多様性が認められる暮らし方をすべきだと思った。

植物園で話を聞き、経済成長することが地方にとって一番大切というわけではないのだとわかった。

course 02

1 犬島精錬所美術館 (60分)

ねらい | 「在るものを活かし、無いものを創る」の意味を考える

❓ 近代化産業遺産（製錬所跡地）を見て何を感じた？

2 犬島「家プロジェクト」 (30分)

ねらい | 「人間の生・命と暮らし、自然」に関するメッセージを、建築物（各邸）とアート作品から感じ、理解しようとする

❓ 家々の中に作品があることをどう感じた？

3 ランチワークショップ (45分)

ねらい | 犬島精錬所美術館での気づきの共有
自然の下で食事をしながら、犬島の地勢について考える

❓ 自己課題について、どういうことを考えた？

4 犬島くらしの植物園 (45分)

ねらい | 実際に土に触り、自然の営みや循環について考えながら作業をする。

❓ 循環型の仕組みを見て、どういうことを考えた？



長島愛生園

瀬戸内市

NAGASHIMA AISEIEN

長島愛生園は、1930年に日本で初めての国立ハンセン病療養所として誕生しました。1996年の「らい予防法」廃止まで、患者は国の政策で強制隔離され、断種手術や監房への収監といった人権を制限された生活を余儀なくされました。現在は、約100人の入所者が後遺症のため療養生活を送っています。長島愛生園の歴史と現在を学ぶことで、偏見・差別のない社会づくりについて考えられます。



- 開館時間：9:30～16:00
- 休館日：月曜・金曜、お盆、年末年始
- ガイド対応人数：要相談
- 問い合わせ先：長島愛生園庶務課 TEL: 0869-25-0321 MAIL: info@aisei-rekishikan.jp

歴史館



講師によりハンセン病の概要を聞き、病気への理解を深めます。展示室では、ハンセン病の概要、年表や新聞記事などハンセン病を取り巻く資料、長島愛生園の歴史などを展示。映像室では、入所者の現在の生活や思いを理解します。患者が受けてきた不当な扱いや差別を知り、なぜ偏見・差別が生まれるかを考えます。

01

差別・人権侵害の発生構造の理解と解決策

差別はなぜ起こるんだろう？
差別が起きないようにするにはどうしたらいいだろう？

02

負の歴史の継承と学び続ける体制づくり

ハンセン病療養所の歴史を継承し続けるためには、どうしたらいいだろう？

03

大きな困難に立ち向かう強さ

差別を乗り越えた入所者たちのように強く生きるにはどうしたらいいだろう？

歴史回廊



入所者が家族と別れた棧橋、入所するとまず入れられた収容所、監房跡、納骨堂などを巡ります。歴史的な建造物としての価値が高く評価され、5件の建造物が国の登録有形文化財に登録されました。
どんな思いでこの橋を渡ったのか、なぜ遺族が遺骨を引き取れなかったのか。現地に立つことで想像を促し、未来へ残す意義を考えます。

グループディスカッション



ファシリテーターのサポートを受けながら、意見を交わします。
ハンセン病について知ってどう思った？ 歴史を語り継いでいくにはどうすればいい？ なぜ差別が起こるの？ なくすためには、どうしたらいい？ —過去の話ではなく現在も続く課題として「自分ごと化」し、主体的に議論して考えを深めます。

教育学習 モデルコース

model course

長島愛生園での学びを深めるため、まず概要を理解し、関係する場所を歩きます。
その後、話し合うことでより深く課題に向き合い、思考を巡らせます。

course 01

1 歴史館見学 (90分)

ねらい | ハンセン病、療養所の理解
療養所の持続可能性に関する課題の理解

- ? ハンセン病患者はなぜ隔離されてしまったんだろう？
ハンセン病患者に対する人権侵害はなぜ起こったと思う？

2 歴史回廊見学 (30分)

ねらい | ハンセン病による差別・人権侵害の実態の理解
療養所の持続可能性に関する課題の理解
歴史継承の体制づくりに対する観光の持つ役割の理解

- ? 入所者さんがいなくなったら、この施設はどうなると思う？
悲しい歴史を語り継ぎ続けることは簡単ではない。課題は何だろう？

3 昼食 (60分)

4 グループディスカッション (60分)

ねらい | ハンセン病による差別・人権侵害の実態の理解
療養所の持続可能性に関する課題の理解

- ? ハンセン病以外で、今も起きている差別や人権侵害って何がある？
差別や人権侵害を起こさないようにするために、あなたは何かができる？



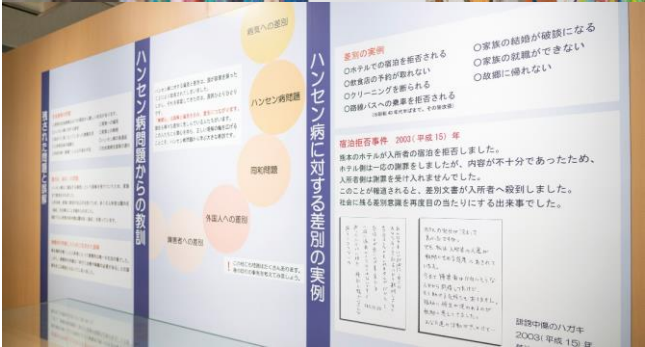
参加者の声

・・・

今も差別されている人がいる。自分がその立場になることを想像してみてほしい。

できるだけ相手のことを知り、自分にできることをして助け合いたい。人に寄り添える人間になりたい。

少数を傷つけ多数を守るような世界でなく、少数も多数も受け入れられる世界をめざしていきたいと感じた。



ウェブシステムとワークブックで
学習を徹底サポート！

先生の負担 ↓

学習効果 ↑

生徒が手軽に学べる /

教員用指導書があるから指導しやすい /



クイズに答えるだけで
SDGsへの理解が深まる



SDGsと現地学習を
融合して考えられる

アクセス方法



旧閑谷学校

自動車

- 山陽自動車道 備前ICから約15分 (8.6km)
- 山陽自動車道 和気ICから約5分 (5km)

JR

- JR山陽本線 吉永駅で下車
タクシー 約10分
市営バス 約12分
徒歩 約40分
- JR赤穂線 備前片上駅で下車
タクシー 約13分
市営バス 約15分

犬島

船

- 宝伝港よりあけぼの丸で約10分
定員：約80人
時刻表：HP参照 ※チャーター船あり

長島愛生園

自動車

- 山陽自動車道 備前ICから
県道260号線を経由し岡山ブルーラインへ
岡山ブルーライン 虫明ICから約10分 (6.5km)

JR

- JR赤穂線 邑久^{おく}駅で下車
東備バス 約47分

お問い合わせ

岡山県備前県民局
地域政策部 地域づくり推進課

TEL:086-233-9890

〒700-8604 岡山県岡山市北区弓之町6-1

MAIL: bizen-kyodo@pref.okayama.lg.jp



プログラム紹介動画やワークブックをcheck!!



このプログラムは、中学生以上を対象として開発しています。
学校教育現場など、グループでの学習を想定した内容となっています。
訪問日程や現地学習のコースなど詳細は、各施設へお問合せください。

作成 2022.02 施設情報は2022年2月現在のものです。